



進路だより

大阪府立東淀川支援学校

令和7年7月14日 第4号

進路だより第4号では、高等部の校内・現場実習の内容をお伝えします。

高等部1年

初めての高等部の校内実習を行いました。5日間、通常の時間割ではなく、軽作業などの卒業後を意識した取り組みが続きました。班にわかれ、「ステップル」というコードを壁に留める部品の組み立てや、「ビス」の袋詰めなど、実際に流通する商品を作り上げていく貴重な機会でしたが、みなさんいつも以上に真剣な表情で、ていねいに取り組んでいました。



また、6月19日(木)には、2つの班がクボタワークス(株)に見学に行きました。事務と清掃の2種の業務を案内いただきました。仕事の内容や注意点、高校生活のアドバイスなどを、メモを取りながら熱心に聞いており、一人ひとりがキャリアアップにつなげようとしている気持ちがあることがよく分かりました。興味と意欲をもって実習に取り組む生徒たちも、さすがに最終日に近づくにしたがって疲

れた表情もみせましたが、見直しをして、ミスがでないように気をつけていました。



高等部2年

高等部2年生の校内実習は1週間で、A班はステップルの組み立て、B班はビスの袋詰めを行いました。CD班の作業は多岐にわたり、ステップルの箱詰め、ビス袋のホッチキス留めの他、様々な製品の組み立て・検品・解体の作業やメッセージの記入作業など盛りだくさんで、大変忙しい1週間でした。1年次とは比べものにならないほど前向きに各活動に参加する様子が見られ、報告・連絡・相談を徹底することへの意識も高く、生徒たちの大きな成長が手に取るようにわかりました。

現場実習には5名が参加しました。実習初日は緊張した面持ちでのスタートでしたが、日を重ねるごとに自信をもって行動し、積極的に業務に取り組む姿が多く見られました。また、実習先の職員の方々からも「礼儀正しく、よく頑張っていました」というあたたかい評価をいただいております。この経験を通して、生徒たちは自ら考えて行動する力や、働くことの意味について深く学ぶことができたように感じています。今後の進路選択や人生設計の一助となる、貴重な時間となりました。今後も、より実践的な学びを通して、生徒一人ひとりの可能性を広げてまいります。引き続きのご支援をいただきますよう、よろしくお願い致します。

高等部 3 年

今回 2 週間の実習期間の中で、ほとんどの生徒が生活介護、就労継続支援 B 型、就労継続支援 A 型、就労移行支援、自立訓練事業所、企業のいずれかで現場実習を行いました。学校とは違う環境の中、自分で決めた目標に向けて、2 日～5 日間（企業は 2 週間）がんばりました。緊張や不安も大きかったとは思いますが、実習後は「楽しかった」「頑張った」「卒業後はここで働きたい」と前向きな感想も聞かれました。

校内実習では、ステップルの組み立てや箱詰め、ビスの袋詰め、ハンガーフックの組み立てなど、実際に市販される商品を取り扱いました。みんなが「丁寧に」「ミスなく」を意識して、集中して黙々と作業に取り組むことができました。また、作業する中で、「できました」「確認お願いします」などの報告を自発的に行う生徒が増え、「仕事」「働くこと」を意識できた実習となりました。

自分にできること、得意なこと、それぞれの課題を見つめ直す時間となり、また社会の一員としてのマナーや、時間を守ること、報告・連絡・相談の大切さも体感することのできる貴重な機会となりました。この経験を日々の学校生活でもいかし、生徒一人ひとりのキャリア形成を支えてまいります。